

会 議 録

会 議 の 名 称	藤井寺市男女共同参画推進審議会
開 催 日 時	令和7年3月5日（水） 10時から11時30分まで
開 催 場 所	市役所3階 305会議室
出 席 者	委 員：星野智子（会長）、大橋敏弘（副会長）、川上一恵、紀太哲夫、武田祥子、田洪義弘、西嶋恭章、南和行、簗内明代、山下晃代 事務局：龍見課長、尾古貴主幹、前田副主査、甲野主事
会 議 の 議 題	（1）令和6年度男女共同参画推進事業の取組状況 （2）「第5期男女共同参画のための藤井寺市行動計画」策定スケジュール （3）市民アンケートおよび職員アンケート実施について （4）その他
会 議 の 要 旨	男女共同参画推進施策の進捗状況及びその課題や問題点について検討及び審議する。
会議録の作成方法	☐ 全文記録 ☒ 要点記録
記録内容の確認方法	☐ 会議の議長の確認を得ている ☒ 出席した構成員全員の確認を得ている ☐ その他（ ）
公開・非公開の別	☒ 公開 ☐ 非公開
傍 聴 者 数	0 人
その他の必要事項	

審 議 内 容	(発 言 者、発 言 内 容、審 議 経 過、結 論 等)
1 会長挨拶	
2 議題	
(1) 令和6年度男女共同参画推進事業の取組状況	
星野会長	それでは、次第に沿って審議を進めていきます。令和6年度男女共同参画推進事業の取組状況につきまして、前回の審議会以降に取り組まれました事業について事務局より説明をお願いします。
事務局	＜資料に基づき説明＞ ・資料1 令和6年度 男女共同参画推進事業の取組状況
星野会長	この件について、ご意見やご質問はありますか。
西嶋委員	デートDV出前講座について、学校との連携は本当に良いことだと思いますので、今後も継続をお願いします。
南委員	デートDV出前講座を実施して、中学生のリアクションはどうでしたか。
事務局	アンケートでは「DVが身体的暴力だけだと思っていた」という感想が多くありました。また、交際相手だけでなく家族や友人などあらゆる対人関係における境界線の話も組み込んでいることから、「自分はいいと思って相手の境界線に入っていたけど、相手はそうじゃなかったかもしれない」という生徒たち自身の気づきを感想でいただき、効果があつたと実感しております。
南委員	中学校ごとに、地域的な違いや学年での違いはあつたりしますか。
事務局	感想からは同じ学年の中でも様々な受け止め方が見られました。また実施する学年は学年のカリキュラムに合わせて判断していただいています。
武田委員	デートDV出前講座の感想で、ハラスメントに対する気づきはありましたか。
事務局	テーマをDVに絞っていますので、中学生からのハラスメントに関しての気づきや感想はなかったと記憶しております。
簗内委員	男女共同参画推進講座に関して、講座に参加された方の性別と年齢層を教えてください。
事務局	コミュニケーション講座と性別役割分担意識解消講座に関して、参加者は30代から60代までの女性でした。コミュニケーション講座は、普段の講座の参加者より

も若い年代の参加が多かったと感じております。

嵯峨委員 事業の取組状況で参加者の男女比や年齢層、アンケート結果などを報告いただいたら審議会でより意見が出やすいかと思います。

星野会長 次回の審議会ではそういった資料を準備していただければと思います。

紀太委員 女性活躍推進講座において、男子児童の視点からも、女性の講師が活躍している場面を見ることができてよい啓発になったのではないかと感じました。

大橋副会長 講座名を男女共同参画やジェンダーという雰囲気を出さないタイトルにすれば、より足を運んでもらえるのではないかと思います。

(2) 「第5期男女共同参画のための藤井寺市行動計画」策定スケジュール

事務局 <資料に基づき説明>

・資料2 「第5期男女共同参画のための藤井寺市行動計画」策定スケジュール(案)

星野会長 パブリックコメントに関して、現行計画策定時にも1、2件しかなかったということで、田浜委員から以前ご提案があったようにSNSの活用などを検討していただければと思います。

嵯峨委員 スケジュールに関して、職員アンケートの結果が第2回審議会で予定されているのは、第1回審議会では案件が多いからでしょうか。

事務局 はい。審議内容の多少の変更は考えられますが、第1回目の審議会では、現行計画の取り組み報告から市民意識調査の結果、第5期計画の骨子(案)までを想定しています。

(3) 市民アンケートおよび職員アンケート実施について

事務局 <資料に基づき説明>

・資料3 「第5期男女共同参画のための藤井寺市行動計画」の策定に係るアンケート調査概要

・資料3-1 男女共同参画に関する市民アンケート(案)

・資料3-2 男女共同参画についての職場アンケート(案)

星野会長 議題3に関しまして、ご意見、ご質問はありますか。各委員順番にお伺いいたします。

<市民アンケートについて>

西嶋委員 無作為に1,500人を選んで実施するということですが、どのように選ぶのでしょうか。個人情報などは大丈夫でしょうか。また問16に関して、困っていることがない人は、どのように回答したらいいのかがわかりにくいと感じました。

事務局 藤井寺市に住民票がある18歳以上の方を対象にシステムで抽出し、発送先をランダムに選びます。また個人情報に関しましては、個人を特定し不利益を与えることがありませんのでご安心ください。

山下委員 同じく問16に関して、設問冒頭に困難な問題を抱える女性への支援に関する法律が施行されましたという文章があることで、男性も答えていいのかが分かりにくかったです。

数内委員 問1の性別を問う設問に関して、その他という回答はどのような人を想定されていますか。

事務局 自分は男性でも女性でもないと自認されている方が回答しやすいようにということを想定しています。

数内委員 「その他」という言葉に引っ掛かりを感じるので、別の言葉で言い換えられればと思います。問9の結婚や出産に関わらず、女性も仕事を続ける方がよいという選択肢に関して、どういった状況と比べてよいのかが気になります。問10の主として夫がすべきという選択肢も、「すべき」と言われることが嫌な感じがするので、主として誰々が担うなどといったニュアンスの方がいいと思います。問11の家庭や地域活動を優先という選択肢の、家庭と地域活動は一括りにできるものなのか疑問に感じました。問14の選択肢に関しては、相談先として身近な家族などを選択項目の最初に並べ替えてみてはいかがでしょうか。問17に関しては、言葉を見聞きしたことがあるだけで、選んでいいのかきちんと理解している言葉を選択するのかが分かりませんでした。問19の選択肢に関しては、人権悩みの相談室と人権悩みの相談室による夜間電話相談は、一緒にして項目を減らすことができないかと思いました。問20の選択肢に関しても、労働に関する項目は一つにすることで、選択肢を少なくし回答する方が最後まで嫌にならずに回答できるのではないかと思います。

南委員 問1に関して、本当にここで性別を聞かれて困る人や、答えたいけど答えられない

という人が答えたくないという選択肢を選べるように、冒頭で男女の社会生活の違いを図るために、あなたの社会生活上の性別を教えてくださいと質問してみてもいいかがでしょうか。問3に関して、あなたは結婚されていますか（事実婚を含む）という聞き方は、法律上で言うと結婚と婚姻は違ったりして非常に回答が難しいと思います。例えば悩まず回答できるようにするとすれば、あなたの配偶者、あるいはパートナーか性別を問わずについて聞きますという問にして、選択肢をいる（同居している）、いる（別居している）いたが関係を解消した、いたが死別しているなどにしてみてはどうでしょうか。問4、問5に関して、同居している家族構成、同居している一番下のお子さんについて聞く方が、回答者も迷わず回答できると思います。問13に関して、典型的なものや激烈なものから順番に並べて何かしらの体系を意識させた方がいいと思います。また、どちらの性別の傾向かを把握するためにも、生活費を渡さないこととデートの費用を無理やり出させられることは分けた方がいいと考えます。問14に関しては、相談先として弁護士会や弁護士事務所という選択肢を増やしてもいいかもしれません。また、全員に暴力を受けた際にはどこに相談するべきかと聞いた方が、相談窓口の認知度を把握することができるため、計画策定にも意味のある結果が得られると思います。問16、17に関して、質問の前に困難女性支援法に関する説明があった方が、答えやすいと思います。

大橋副会長 市民意識調査の回収率はどのくらいを想定していますか。

事務局 回収率は30%を目標としています。回収率を上げるためにお礼状兼督促状を回答期日の数週間前に送付することを考えています。

大橋副会長 市役所から来た文書だと受け取った人がわかりやすくすると、安心できると思います。また市民意識調査は前回と経年比較をするのであれば、内容をあまり大きく変えると比較できないと思います。

川上委員 国や大阪府の意識調査と比較して、藤井寺市として個別の課題がないかを見ていくため、質問項目は国や府とも整合性が取れるようにする必要があります。問14の選択肢に関して、大阪府女性相談センターだけでなくかっこ書きで、配偶者暴力相談支援センターと記載するほうがわかりやすいのではないのでしょうか。

紀太委員 問9の質問の聞き方についてですが、「あり方の考え方」という文言よりも「あり方」についてどう思いますかと聞いたほうが、わかりやすいと思います。さらに選

択肢は、簡単に回答できる項目と回答に悩む項目があると感じました。回答に悩んだ項目について、問21の自由記載欄に書いてもらいやすいように、各設問冒頭に付番してはいかがでしょうか。

副委員長 南委員や藪内委員がおっしゃった質問項目や選択肢に関して、同じような疑問を持っていたので意見が出てよかったです。

副委員長 次回の市民意識調査の話になってしまいますが、回収率を上げるためには事前調査と本調査を実施して、事前調査で男女共同参画に興味がある人に本調査を送る方法が無作為抽出よりも実りのある結果が生まれて効果的かと思います。

副委員長 多くの調査では経年比較のために前回分とあまり変えないことがあります。しかし時代に合わなくなる質問項目も生まれると予測されることから表現や内容を適宜変更することも大切だと思います。意識調査の全体的な見直しのためにスケジュールの後ろ倒しをしますか。それとも修正して進みますか。

事務局 今回ご意見いただきました箇所に関しまして、できる限り委員の皆様のご意見を反映させる形で進めさせていただきます。

副委員長 よろしく願いいたします。

<職場アンケートについて>

副委員長 回答しやすいレイアウトや表現に努めていただければと思います。回収率に関しては市民意識調査よりもはるかに良いと思いますので、事務局は職員の皆さんへお声がけをお願いします。また女性の管理職の割合や育児休業の取得率に関しては、国の目標値があり実績を上げるためだけになされる傾向があるので、職員アンケートをきっかけとして啓発の一環になればいいと思います。他にご質問やご意見はありますか。なければ、これを持ちまして本日の審議を終了します。